



COVID-19ワクチンの基礎知識： 妊娠と授乳について



COVID-19のワクチン接種を受けるべき理由とは

- ワクチン接種は、新生児を**COVID-19**による深刻な健康問題から守るための**最善方法**です。あなたがワクチン接種を受けると、抗体が子宮内の胎児に移行します。あなたの赤ちゃんはCOVID-19に対し、ある程度の抗体を持って生まれてきます。
- ワクチン接種は、**妊娠中にCOVID-19によって重症化するリスクを軽減**します。COVID-19に感染した妊娠中の方は重症化して入院したり、早産の可能性が高まります。



妊娠中や授乳中のワクチン接種は、全ての主要な母性衛生団体から推奨されています。

ワクチン接種を受けるタイミング

- ブースター接種を含むワクチン接種は、妊娠および授乳期間中のどの段階でも受けられます。
- 最後に初期接種かブースター接種を受けてから2か月以上経っている場合、**更新された（二価）ブースター接種を受けることが重要です**。
- COVID-19ワクチンは、インフルエンザや成人用三種混合を含む他のワクチンと同時に受けられます。

詳細はph.lacounty.gov/covidvaccineschedulesをご覧ください。



妊娠中に人にワクチンが安全な理由とは

- 妊娠中にワクチン接種を受けた、たくさんの人々の研究と安全性モニタリングは、妊娠合併症や先天性欠損症のリスクが増加しないことを示しています。
- どのCOVID-19ワクチンにも生ワクチンは含まれていません。ワクチン接種であなたやあなたの赤ちゃんがCOVID-19に感染することはありません。



ご質問などはかかりつけ医にご相談ください。1-866-626-6847に電話で問い合わせたり、855.999.8525にテキストしたり、ContactUs@mothertobaby.orgにメールを送ったり、mothertobaby.org/ask-an-expertからチャットをすることもできます。

ワクチン接種は健康保険を持っていない方を含む全ての人に無料で提供されています。

滞在資格を問われることはありません。予約を必要としない、週末や夜間も営業している接種場がたくさんあります。接種場を探すには：

- ph.lacounty.gov/howtogetvaccinated にアクセスするか、午前8時から午後8時半まで受け付けている **1-833-540-0473** までお電話ください。
- 2-1-1に電話したり、かかりつけ医や地元の薬剤師に尋ねることもできます。
- 無料送迎や訪問接種も提供しています。